

## 認知症作業療法 活動報告 (概要)

山口県作業療法士会では、平成17年度より「認知症に対する作業療法委員会」を立ち上げ、認知症に関する研修会や事例検討会を行ってきました。平成28年度からは、地域に求められ地域に参画できる作業療法士の育成等を目的に「地域包括ケア推進部」を発足しました。「地域包括ケア推進部」は、「MTDLP委員会」「地域支援事業関連委員会」「認知症初期集中支援事業関連委員会」「住環境福祉機器対策委員会」の4つの委員会で編成され、「認知症に対する作業療法委員会」は「認知症初期集中支援関連委員会」へ移行され、現在にいたります。

主な活動として、認知症アップデート研修（年1回）、認知症関連研修（年1回）、症例検討会（年1回）を行っています。その他に他機関などからの要請に応じて委員の派遣などを**認知症アップデート研修**

平成29年度より認知症アップデート研修を開始。

本年は令和元年7月7日に開催。

・平成29年度～令和元年度 修了者 128名



## 認知症研修会

平成29年度 「若年性認知症の支援について」

講師：山口県立こころの医療センター

若年性認知症支援コーディネーター 精神保健福祉士 家城利右子氏

平成30年度 「認知症カフェと認知症の人と家族の会の活動を知る」

講師：公益社団法人認知症の人と家族の会山口県支部

代表 川井元晴氏

令和元年度 「認知症にやさしいまち～認知症にやさしい図書館高齢者にやさしい地域・公園～」

講師：広島都市学園大学 准教授 谷川良博氏

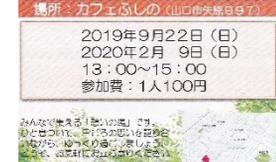


## 認知症の人と家族の会山口県支部との連携

昨年度より、県士会と認知症の人と家族の会山口県支部との交流・連携がはじまりました。山口県では、平成13年度から、「世界アルツハイマーデー」を含む9月を「認知症予防月間」と定め、認知症に対する正しい理解の普及啓発を目的として「認知症予防キャンペーン」を実施しています。本年の主要行事として「第2回山口県認知症カフェサミット」が開催されることになり、主催である山口県、認知症の人と家族の会山口県支部より県士会に対して実行委員の派遣依頼があり委員を派遣。シンポジウムでは、京都府士会で認知症カフェの支援に関わっている作業療法士と、その認知症カフェに参加されている当事者の方にシンポジストとして参加していただき、「こんなカフェがあったらなあ」というテーマでシンポジウムを行いました。

## その他の活動

山口県では多くの県士会員が各市町のRUN伴実行委員会の委員として活動しています。また、若年性認知症の人のための認知症カフェに協力者として参加などしています。



## 今後の展開

- ・各市町や関係団体との連携を強化し、地域（認知症関連）で活躍できるOTを増やす。
- ・認知症初期集中支援、認知症と運転、若年性認知症への支援等への取り組み。